



聖ペトロ・聖パウロ

カトリック延岡教会

令和3年10月

ST.Peter & ST.Paul Nobeoka Catholic Church

〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-3 ☎0982-32-6501◇FAX0982-20-4640◇HPwww.nobeoka-catholic.com

No40

延岡教会年間目標「福音宣教に向けて心を尽くしましょう。」

使徒的書簡「父の心で」を味わいましょう！



イエスにとってヨセフは、天の御父の地上にける影です。イエスを守り、保護し、その歩みを見守るため、イエスのそばを離れることはありません。

ヨセフは父になります。子どもが生まれたから父になりではなく、責任を持ってその子を世話することで父となるのです。この意味から、誰かの人生に対する責任を引き受け入れることは、その人に対し父として振る舞うこととなるのです。

父であるとは、子を人生経験へと、現実へと導く事です。伝統的ヨセフは、父という称号とともに、「浄配」という称号も得ています。

純潔とは、人生のあらゆる領域にある所有欲からの解放です。愛は、純潔であってこそ真の愛なのです。支配を欲する愛は、必ず危険で、束縛的で、息苦しく、不幸なものとなります。神は、純潔の愛で人間を愛し、過ちを犯したり神に逆らったりしようとも、その人を自由にしておられます。

愛の論理は、常に自由の論理です。そして、ヨセフは、自由なかたちで愛することが出来たのです。このかたは、決して中心にはなりません。マリアとイエスを自らの人生の中心に据えるために、いかに自らを脇に置くかを理解していました。

ヨセフの喜びは、自己犠牲の論理ではなく、自分贈与の論理にあるのです。わが子の人生を自分のものにしたいという誘惑を退けた父

親は、常に新しい空間に開かれています。父親が、自分の教育の務めは果たした、父たるものを十全に生ききったと自覚するのは、自分が「用済み」になったとき、子どもがなんとか自立して一人で人生を歩んでいるのを見たとき、ヨセフの立場に我が身を重ねるときです。

ヨセフは常に、御子は自分のものではなく、世話するために委ねられただけだと理解していました。結局のところそれは、「地上の者を父と呼んではならない。あなた方の父は天の父おひとりだけだ」(マタイ23:9)とイエスが伝える事なのです。

ある意味で私たちは皆、ヨセフのたがにあります。唯一の天の御父、「悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださる」(マタイ5:45)かたの影です。

「父の心で」の目的は、聖ヨセフへの愛を深めその執り成しを祈り、その徳と果敢さに倣うように促すことです。聖ヨセフに恵みの中の恵みを祈るのみです。それは私たちの回心です。聖ヨセフに祈りましょう！

贖いの主の保護者、おとめマリアの夫よ。神はあなたに御子を委ね、マリアはあなたを信頼し、キリストはあなたによって養われ大人になりました。

聖ヨセフよ、父親としての姿をわたしたちにも示し、日々の歩みを導いてください。恵みの慈しみと勇気が与えられ、すべての悪から守られますようにお祈りください。

アーメン。

ミサの案内

主 日	平 日
18時30分～(土曜日):延岡教会 6時20分～(日曜日) :聖心ウルスラ修道院聖堂 9時30分～(日曜日):延岡教会	6時20分～ :聖心ウルスラ修道院聖堂

◎10月は、「**宣教の月**」となっています。教皇フランシスコは、私たちに「**希望の宣教者**」となるよう呼びかけておられます。福音の喜びを多くの人と分かち合う事が出来るよう祈って参りましょう!

◎10月は、「**ロザリオ**」の月です。私たちの回心を望まれる聖母マリアの御心に合わせて、ロザリオの祈りを捧げて参りましょう!

◎お知らせ

1. ミサについて

(1) 11月 7日(日)のミサにおいて、**納骨者の追悼**をお祈り致します。納骨者以外の方で追悼を申込する方は、申込用紙に必要事項を記入のうえ、主任司祭へご提出ください。(10月31日まで受け付け)

(2) 11月14日(日)のミサの中で、**七五三の祝福**を行います。祝福を願われる方は、**申込用紙の必要事項**を記入のうえ、主任司祭へご提出ください。(11月7日まで受け付け)

◎特定献金ミサについて

10月24日(日)ミサは、特定献金「**世界宣教の日**」となります。この日の献金は、大分教区へ納めますので、よろしくお願い致します。